

2019/7/26

自民党三重県連 豚コレラ対策本部設立



川崎二郎衆院議員による緊急記者会見(津市桜橋、自民党三重県連)

家畜伝染病「豚コレラ」がいなべ市内の養豚場で発生したことを受け、自民党県連は7月26日、対策本部を立ち上げた。

県連会長の三ツ矢憲生衆院議員が本部長に就任。県内の業界団体などから要望を聞き取り、県や国に対して必要な対策を働き掛ける。

県連顧問の川崎二郎衆院議員が同日、津市桜橋二丁目の県連で記者会見し「県全体で広域的にきちんと対応することが必要」と説明。「イノシシ向けのワクチンは短期的な効果が望めない。完全に豚舎を守るか、豚にワクチンを投与するしかない」との考えを示した。

この日、川崎二郎衆院議員ら自民党三重県連の幹部は、渡邊信一郎副知事から県の防疫措置の内容を確認した後、県内の養豚農家から要望を聞き取った。川崎氏は8月1日、愛知、岐阜両県の自民党の国会議員らで協議会を発足させる方針。東海地方の自民党議員がまとめ、豚コレラの問題に取り組む。